

2016年7月13日

会 員 各位
関係者 各位

食農資源経済学会
会 長 福 田 晋

2016年度 食農資源経済学会 第10回大会(宮崎大会)のご案内

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、2016年度 食農資源経済学会 第10回大会を下記の通り、宮崎市において開催いたします。
多数ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

【1】日 程

9月9日 [金]	◇エクスカージョン	12:00~17:00
	◇学会賞選考委員会	17:30~18:00
	◇理事会	18:00~20:00
9月10日 [土]	◇報告討論会	9:00~16:00
	◇地区幹事会	12:00~13:00
	◇総 会	16:10~17:30
9月11日 [日]	◇懇親会	18:30~20:30
	◇研究報告会	9:00~16:30
	◇編集委員会	12:00~13:00

【2】会場 JA・AZM (アズム) ホール別館 (宮崎県農協会館; 宮崎市霧島 1-1-1)

9月10~11日は近隣に昼食をとれる店が殆どないため、お弁当(500円前後を予定)を申し込まれることをお勧めします。お弁当の数には限りがございます。同封の返信用ハガキにて確実にご予約をお願いいたします(AZMホールのレストランは営業しておりません。なお、理事会、地区幹事会、編集委員会に出席される方にはお弁当を用意します)。

9月9日 [金]	◇学会賞選考委員会	(17:30~18:00)	別館 201
	◇理事会	(18:00~20:00)	別館 201

9月10日 [土]	◇報告討論会	(9:00~16:00)	別館 302
				(休憩室・昼食会場: 別館 301)
	◇地区幹事会	(12:00~13:00)	別館 302
	◇総 会	(16:10~17:30)	別館 302
	◇懇親会	(18:30~20:30)	

ニューウェルシティ宮崎: 宮崎市宮崎駅東 1-2-8 TEL.0985-23-3311
(JR 宮崎駅東口より徒歩3分)

9月11日 [日]	◇研究報告会	(9:00~16:30)	別館 201、202
				(休憩室・昼食会場: 別館 301)
	◇編集委員会	(12:00~13:00)	別館 201

【3】食農資源経済学会第10回大会 報告討論会

共通テーマ：『食』を結節とする生消連携－女性の活躍に注目して－

【報告討論会のねらい】

生産者と消費者との距離の問題が指摘されているなか、生産段階では付加価値を取り込むべく6次産業化の動きが、販売・消費段階では加工・直売所の役割もますます重要になってきている。ただし、互いがどのような形で連携し、発展していくべきかについては多様な形態が想定され、議論すべき点が多い。また、「食」に関してはとりわけ女性の活躍がますます期待されている。

そこで、今回の報告討論会では、生産者、消費者、研究者の各々の立場で先進的な取り組みを行っている女性の方々に話題提供して頂き、どのような連携のもとに生消連携・地域振興を図っていくべきか、「食」と「女性」をキーワードに考える。

9：00～ 9：05	学会会長挨拶	福田 晋（九州大学大学院農学研究院）
9：05～ 9：20	座長解題	磯田 宏（九州大学大学院農学研究院） 山本直之（宮崎大学農学部）
9：20～10：00	第1報告「農業をめぐる環境の変化と農村女性の活躍」	納口るり子（筑波大学生命環境系）
10：00～10：40	第2報告「農産物直売所における消費者との交流に関する一考察」	里村睦弓（福岡県農業大学校非常勤講師）
10：40～11：20	第3報告「美と健康を支える食の実現に向けた6次化の実践」	蛭原啓子（バディラボ（株）代表取締役） 西 和盛（宮崎大学地域資源創成学部）
11：20～12：00	第4報告「地域の農産物の魅力発信の取り組み－生産者と生活者をつなぐために－」	湯浅まき子（シェア野菜ソムリエ・6次化プランナー） 狩野秀之（宮崎大学農学部）
12：00～13：00	昼 食	
13：00～13：30	コメント（3人・各10分）	
	第1コメンテーター	田上敬子（前南九州大学）
	第2コメンテーター	杉村泰彦（琉球大学農学部）
	第3コメンテーター	甲斐久晴（JA延岡営農部長）
13：30～16：00	総合討論	

【4】研究報告会での報告申込み

報告希望者は、8月5日〔金〕まで必着にて、報告要旨1ページ分（「研究報告要旨作成要領」参照）のデータファイル（Microsoft Wordもしくは一太郎）を電子メールに添付し、メールのタイトルを「研究報告申し込み」として下記の学会事務局宛に送信してください。

報告時間は15～20分の予定です。報告順、時間等については追って連絡いたします。多数の応募をお待ちしています。

研究報告要旨送付先：食農資源経済学会事務局 長命洋佑

TEL：092-642-2973 E-Mail：jimu@shokunoshigen.jp

〒812-8581

福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院内

【5】エクスカーシヨンの申込み

口蹄疫の被害を受けた川南町は、農業者・関係機関の努力により農業復興を果たしています。その川南町では、畜産はもちろんのこと野菜、果樹、茶など、多様な農業が展開されています。

今回のエクスカーシヨンでは、口蹄疫からの復興の実態と、元気な川南町の農業についてご覧頂きます。

なお、昼食はご用意しておりません。恐縮ではございますが、昼食は12:00までに各自でお済ませくださいますよう、よろしくお願いたします。

エクスカーシヨンは、バスの座席の都合により先着順により、満席になり次第締め切らせていただきます。そのため、エクスカーシヨンに参加される方は、早めに参加申し込み葉書をお出しください。バス代は2,000円となります。

☆エクスカーシヨンのスケジュール（12時までにJR宮崎駅東口に集合してください）

12:00 宮崎駅東口 集合、貸し切りバスで出発

13:00 「香川ランチグループ」（採卵鶏、鶏卵・鶏肉加工販売）に到着

13:00～14:20 「香川ランチグループ」の工場・直売所を見学

14:30～15:00 「協同ファーム」（養豚、加工販売）を見学
（途中、「井尻太郎茶園」で休憩予定）

15:10～16:00 内野宮一浩氏イチゴ作経営を見学（※途中の時刻は予定です）

17:00 JA・AZMホール到着、17:15 宮崎駅東口到着

【6】費用等

①大会資料代（大会参加費）：2,000円

②エクスカーシヨン バス代：2,000円

③懇親会費：5,000円（学生：3,000円）（予定）

【7】大会会場（JA・AZMホール；宮崎県農協会館）までのアクセス

JA・AZMホールのURL <http://www.jaazm.jp/access/>





◇タクシー

・JR宮崎駅（西口）より約10分

◇バス

- ①宮崎駅（西口）より「ボンベルタ橋前」バス停まで徒歩8分、「平和台」行きのバス乗車、「花殿町」バス停下車徒歩1分（約20分程度）
- ②「宮崎駅（東口）」バス停より「平和台」行きのバス乗車、「花殿町」バス停下車徒歩1分（約25分程度）

《行き》

ボンベルタ橋前バス停(午前中のみ記載)

	平日	土曜	日祝
行先 経由	平和台 県病院方面	平和台 県病院方面	平和台 県病院方面
7	08 14 29 33 39 59	36	
8	14 30 45	06 37	06 47
9	10 25 50	07 37	27
10	25 26 45	07 37	07 37
11	05 25 45	07 37	07 37

宮崎駅東口バス停(午前中のみ記載)

	平日	土曜	日祝
行先 経由	平和台 県病院方面	平和台 県病院方面	平和台 県病院方面
7			
8	13 53	20	30
9	8	50	50
10	08 48	50	50
11	08 48	50	50

《帰り》

花殿町バス停（午後のみ記載）（いずれも「県病院前」「MRT前」「橋通り3丁目」のバス停を経由）

行先 経由	平日			土曜		日祝	
	宮交シティ 橋通り方面	青葉町・柳丸町 橋通り方面	宮崎駅東口 橋通り方面	青葉町・柳丸町 橋通り方面	宮崎駅東口 橋通り方面	青葉町・柳丸町 橋通り方面	宮崎駅東口 橋通り方面
12		22	42 57	37	7	37	7
13		42	22 57	37	7	37	7
14	52	42	22 57	37	7	37	7
15	22	27	42 57	37	7	37	7
16	32	42	22 57	37	7	37	7
17	32	52	22	37	7	47	7
18		22	57	37	7	27	
19		32	57	47	7	47	7
20		27			27		
21			7		7		

【8】宿泊先

ホテル等宿泊先は、各自での予約をお願いします。宮崎市内は比較的多くのビジネスホテルがありますが、観光シーズンのため、早めの予約をお勧めします。

【大会についてのお問い合わせ先】

大会についてのお問い合わせは、現地実行委員会・事務局（狩野秀之）までお願いいたします。また、非会員の方々の参加申込みにつきましても下記までお願いします。

お問い合わせ先：宮崎大学農学部 狩野秀之（大会事務局）

TEL：0985-58-7172 or（携帯）090-1192-3851 FAX：0985-58-7172

E-Mail：hkano@cc.miyazaki-u.ac.jp

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学農学部

（実行委員長：山本直之）

（大会事務局：西 和盛）

研究報告要旨作成要領

1. 書式

- 1) A4判横書き。横 35 文字×縦 32 行以内（800 字程度）とする。
- 2) 見本にあるように上下、左右にそれぞれ必要な余白を取る。

2. 構成

1) 1 枚目の用紙

- 第 1 行 題目<行の中央に置く＝センタリング>
 第 2 行 空白<但し、副題がある場合はハイフンで閉じる－副題－>
 第 3 行 氏名（所属）<行の中央に置く＝センタリング>
 第 4 行 空白
 第 5 行 本文



- 2) 題目が 2 行以上にわたる場合や副題がつく場合は、第 2 行以下を繰り下げる。
 その場合、印字範囲の枠をはみ出さないよう本文の行を削る。

3. 設定

用紙のサイズ	A4	上端マージン	30 ミリ
紙の置き方	縦書き	下段マージン	30 ミリ
1 行文字数	35 文字	左端マージン	30 ミリ
1 ページ行数	32 行	右端マージン	30 ミリ
文字方向	横書き	ページ番号	付けない
フォント	MS 明朝 (題目は MS ゴシック)	フォントサイズ	12 ポイント

見本：用紙は A4 判（外枠を A4 判用紙と見立て下さい。）

